



高齢社会・長寿社会における金融の目指すべき姿など

- ◆ 高齢社会における金融の目指すべき姿は、高齢者をはじめとする国民がそれぞれの状況に応じた適切な金融取引の選択を行うことができるような状態を実現することではないか。また、それを通じて、
 - 「預貯金偏重」から「資産形成」(長期・分散・積立投資)へ
 - 「公助」頼りから「自助」も含めた豊かな老後へ
 - 「長寿化」に応じた「資産寿命の延伸」
 - 家計の資産配分の効率化を通じ、経済全体の資金循環の質の改善へ
 - などを目指していくこととなるか。